

トピック(テーマ)		信濃博物学会	
ねらい		信濃博物学会は明治35年6月、長野県師範学校博物教室で発会式を挙 行した。師範学校の教師であった矢沢米三郎が幹事長に就任している。 高山での採集活動が盛んで、新種発見や新しい分布などの確認が相次 いだ。実験・観察を重視した理科教授が主張され、信濃教育会の小学理 科生徒筆記代用(理科教科書の代用)の作成へもつながっていった。	
キーワード		信濃博物学会 信濃博物学雑誌 矢沢米三郎 河野齡蔵 臼井勝三 長谷川五作 メンデルの学説の日本初の紹介 高山植物の採集・調査 小学理科生徒筆記代用 白馬岳登山	
概要を知る ためのツール	1	書名	長野県政史 第1巻
		著者名	長野県
		出版社	第一法規出版
		出版年	1971.3
		内容紹介	「第三編 長野県政の確立(明治Ⅱ) 第四節 近代文化運動の展開 二 各種の文化活動の展開 博物研究と信濃博物学会」 博物研究、調査・採集活動、理科教育の発展などについて概観できる。
	2	書名	信州の教師像
		著者名	信濃毎日新聞社編集局
		出版社	信濃毎日新聞社編集局
		出版年	1970.10
		内容紹介	「矢沢米三郎(博物教育)—高山学術研究の開祖—」<執筆者 山崎林 治>長野県尋常師範学校教員。信濃博物学会を結成し幹事長となる。 会の研究誌として『信濃博物学雑誌』を刊行する。遺伝の「メンデルの法 則」をわが国で最初に紹介したのは、明治36年から37年にかけて『信濃 博物学雑誌』上であった。
資料リスト	1	書名	信州近代の教師群像
		著者名	中村一雄
		出版社	東京法令出版
		出版年	1992.6
		内容紹介	「8 郷土の自然科学研究 博物研究の矢沢米三郎と河野齡蔵」 (矢沢米三郎) 矢沢の教員養成と博物研究 信濃博物学会と信濃山岳 研究会の創設 博物学の研究業績(河野齡蔵) 高山研究の先駆者河野 齡蔵 博物学研究の学会の活動 学校園とロックガーデンの築造
雑誌	1	論題名	メンデルリズムと長野県
		雑誌名	信州自治
		出版年	1975.12
		内容紹介	「メンデルリズムと長野県」 <執筆は小林英一> メンデルの遺伝に関する学説は、臼井勝三(東筑摩郡麻績村出身)が 『信濃博物学雑誌』7号(明治36年10月)~9号(明治37年3月)にかけて寄 せた論文により、日本に初めて紹介された。長谷川五作のエンドウの交 配実験によるメンデル則の確認についての記述もある。

	2	雑誌名	信濃博物学雑誌
		巻号	第1号～第39号
		出版年	1902～1913
		所蔵	県立長野図書館 松本市中央図書館 諏訪市図書館
		内容紹介	第1号～第39号まで上記3図書館が所蔵しているので、詳細について調査する場合は利用することができる。
インターネット 情報	1	サイト名	国会図書館デジタルコレクション
		URL	<a href="https://dl.ndl.go.jp/">https://dl.ndl.go.jp/</a>
		概要	「矢沢米三郎」で検索すると多数の資料の画像を見ることができる。また図書館送信参加館内公開ではあるが「信濃博物学会誌」の画像も搭載されている
	2	サイト名	信州地域史料アーカイブ 7.教育、人物・伝記
		URL	<a href="https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11F0/WJJS07U/2000515100/2000515100100070/mh013500">https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11F0/WJJS07U/2000515100/2000515100100070/mh013500</a>
		概要	「信濃博物学雑誌」(第3号雷鳥特集)の画像、解説が掲載されている
新聞	1	記事	日本メンデル協会 遺伝学者が顕彰
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊28ページ
		年月日	2014.3.16